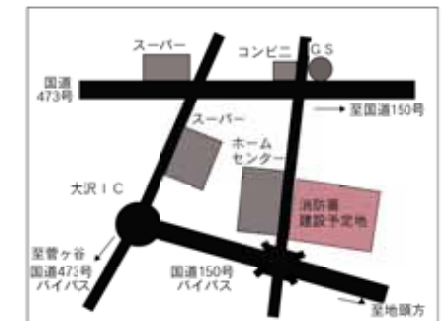




市民の生命・財産を守る新たな防災拠点

施設名	(仮称) 牧之原市相良消防署
建設予定地	牧之原市波津地内 (国道150号バイパス大沢インターチェンジ付近)
敷地面積	約15,000平方メートル
建築設計	平成23年度
敷地造成	平成23年度
建築工事開始	平成24年度
建築工事完了	平成24年12月
運用開始	平成25年4月1日予定
建築物の規模	鉄筋コンクリート造2階建 (車庫棟: 鉄骨造) 延床面積約2,500平方メートル
建築物の種類	消防庁舎、訓練塔、車庫棟
配置人員	42人 (平成25年度時点)
配備車両	13台 (救急車、消防車、救助工作車など)



よくある質問—Q&A—

Q1 体制が変わるみたいだけど、牧之原市の消防力は大丈夫なの。

A1 相良消防署や地頭分遣所を整備するため、消防力は低下しません。さらに出動命令を集中化などの効率化により、市民サービスの向上を図ります。

Q2 119番をするとどこに通報されるの。

A2 榛原地域は吉田榛原消防署、相良地域は御前崎市消防署で、25年度からは御前崎市が参加する中東遠地域指令センター(磐田市)に通報されます。

28年度からは牧之原市全地域は静岡地域消防本部(静岡市)に統合されます。

Q3 火災や救急出動で指令を出すときに、指令本部内で静岡市の消防職員に牧之原市の地理が分かるの。

A3 すでに静岡市に職員が派遣されており、準備を進めています。広域化後においても職員が静岡市の指令本部に勤務し、的確な位置誘導を行うとともに情報システムの導入により対応します。

Q4 消防団も広域化するの。

A4 消防団は区や町内会において、地元で密着した消防活動を実施しているため、広域化の対象ではありません。

災害の大規模化や住民ニーズの多様化など
消防救急業務を取り巻く環境は大きく変化しています。
消防救急業務はこの変化に的確に対応し、一刻も早く
市民の生命・財産を守るため、一層、責務を果たして
いかなければなりません。
広域化までに牧之原市消防体制の構築に向けて
やらなければならないことはまだまだありますが
広域化となっても牧之原市の安全・安心を守り、
市民が幸せに生活できるよう目指していきます。

特集 市民の安全・安心のために 終

